

## 盛地申3号 提出!

本人の生活設計やキャリアプランを無視した「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」の施策運用の是正を求める緊急申し入れ

2020年4月1日から「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」施策がスタートしています。この間、本施策についてさまざまな場で議論をしていますが、2020年申5号「『変革2027』を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について施策の運用場面に関する申し入れ」の団体交渉では「異動を決める判断要素として本人希望は間違いなく入れている」「納得感を得られるように異動の目的を理解して異動してもらうようにやっていく」「希望している人、していない人も同じ納得感を持つことが必要」「公正公平に異動を実施していくことは変わらない」「日々のコミュニケーションによって把握していくことは変わらない」等を確認しています。また、2020年申10号「『変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について』施策の運用に関する緊急申し入れ」では「異動というのは事前通知書を渡すことで正式な通知となるが、いきなり渡すことは会社としても社員のことを考えれば丁寧ではない」「具体的な話は事前通知を出す前にコミュニケーションを取る中で話をしていく」等を確認しています。

しかし、一部職場では事前通知前のコミュニケーションや、組合員・社員の生活設計やキャリアプランを把握することなく、事前通知書を渡している現実が明らかになっています。その現実、この間の労使議論を形骸化するだけでなく、組合員・社員の生活設計やキャリアプランを無視した人事異動、納得感が全くない人事異動は労働組合として当然納得できるものではありません。このような経営姿勢では、「変革2027」等でめざしている会社には到底及ぶものではなく、社員のやりがいやモチベーション低下、離職者を多く発生させることとなります。自身の生活設計やキャリアプランを描き実現できる会社を構築するために、下記の通り緊急申し入れをしました!

1. 一部職場で発生している人事異動に伴う事前通知前のコミュニケーションがないまま、前日の予告のみで通知した理由を明らかにすること。
2. コミュニケーションがなく事前通知を出した事象を是正し、改めてコミュニケーションを図り、納得感を高めてから事前に通知すること。

北上新幹線保線技術センターでの事象だけではなく、盛岡支社現業機関での事象も発生しています!  
組合員の利益に関わる事象です!全組合員でたたかいを創り出そう!